

4. 報告

(1) 評価指標実績の報告について

評価指標①	公共交通の市民1人当たりの年間利用回数	令和9年度目標値	2.37回/人・年以上
【定義】対象路線の年間利用者数の合計値を人口（3月時点）で割った値 【対象】幹線：広域幹線（バス）、準幹線（バス）※波根線を除く 支線：定路線、乗合タクシー その他：福祉バス、高齢者等外出支援事業、まめながタクシー		令和3年度実績	1.69回/人・年
		令和4年度実績	↑ 1.80回/人・年
	【コメント】	利用回数が増加しています。 利用しやすいダイヤ改正等の取組を実施していきます。	
評価指標②	JRの1日平均利用者数	令和9年度目標値	3,840人/日
【定義】市内の鉄道駅（JR）における1日平均利用者数の合計値		令和3年度実績	2,803人/日
		令和4年度実績	↑ 3,243人/日
	【コメント】	利用者数が増加しています。 引続き、利用促進に取り組みます。	
評価指標③	一畑電車の年間輸送人員	令和7年度目標値	150万人/年
【定義】市内の一畑電車の年間利用者数		令和3年度実績	110万人/年
		令和4年度実績	↑ 126万人/年
	【コメント】	利用者数が増加しています。 引続き、利用促進に取り組みます。	
評価指標⑤	公共交通による人口カバー率	令和9年度目標値	78.2%
【定義】以下の対象路線の駅、バス停（フリー乗降区間）から500m圏域内に居住する人の総人口に占める割合（圏域内人口は最新の国勢調査データより抽出） 【対象】幹線：JR、一畑電車、広域幹線（バス）、準幹線（バス） 支線：定路線、乗合タクシー その他：福祉バス、まめながタクシー		令和3年度実績	75.1%
		令和4年度実績	→ 75.1%
	【コメント】	次年度以降は、ドアツードアの定額乗合交通を導入し、カバー率を上げていきます。	
評価指標⑥	わかりやすい時刻表やマップの作成と多言語化の実施状況	令和9年度目標値	3件以上
【定義】施策5で定める「わかりやすい時刻表やマップの作成と多言語化」についての具体的な取組の実施状況（実施件数）		令和3年度実績	なし
		令和4年度実績	→ なし
	【コメント】	令和5年度中にバス時刻表の多言語化を実施します。	
評価指標⑦	公共交通の公的資金の投入額	令和9年度目標値	260百万円/年
【定義】公共交通の維持に係る市の支出額（波根線を除く）		令和3年度実績	260百万円/年
		令和4年度実績	↓ 298百万円/年
	【コメント】	燃料費の高騰や、自主運行バス事業者への補助金増によるもの。 利用促進等により、運行収入の増加を図り、市の支出額を抑制していきます。	
評価指標⑧	公的資金が投入されている公共交通事業の収支率	令和9年度目標値	30.4%
【定義】公的資金が投入されている公共交通事業について、全体の収支率（支出に対する収入の割合）（波根線を除く）		令和3年度実績	29.0%
		令和4年度実績	↓ 22.7%
	【コメント】	燃料費の高騰などによる経費の増による。 利用促進等により運行収入の増加を図り収支率を維持していきます。	
評価指標⑨	スマホひとつで利用できる公共交通システムの構築状況	令和9年度目標値	10路線以上
【定義】施策11で定める標準的なバス情報フォーマットを整備したバス路線の数		令和3年度実績	5路線
		令和4年度実績	→ 5路線
	【コメント】	令和5年度に実施。 令和6年度以降は、定時定路線バスについては、スマホで検索ができるようになります。	

(2)各施策の進捗状況について

令和5年度 出雲市地域公共交通計画事業実施計画

施策1 地域と地域をつなぐネットワークの強化

施策1-2 幹線・支線の見直し基準の設定

出雲市地域公共交通計画において、出雲市内の公共交通の幹線・支線の区分、役割を明確化し、合わせてバス路線の幹線・支線の見直し基準を設定しました。この基準により、毎年度状況を確認していきます。

【事業の実施主体】

出雲市・交通事業者・地域住民

【事業の概要】

各バス路線ごとに見直し基準に照らし合わせ、状況を報告します。

【スケジュール】

令和6年1月 出雲市地域公共交通活性化協議会にて報告

令和5年度 出雲市地域公共交通計画事業実施報告(中間)

施策1-2 幹線・支線の見直し基準の設定

令和5年度（令和4年10月～令和5年9月）の状況

区分	路線名	基準①1便あたりの利用者数		基準②利用者1人あたりの経常損失		見直しの要否
		基準値	実績値	基準値	実績値	
広域幹線 (バス)	大社線	5.0人未満	14.1人	500円以上	15円	
	日御碕線	5.0人未満	8.6人	500円以上	277円	
	須佐線	5.0人未満	5.1人	500円以上	1,409円	
準幹線 (バス)	三刀屋出雲線	5.0人未満	2.5人	500円以上	1,159円	要
	小田線	5.0人未満	10.3人	500円以上	559円	
支線	大寺線	2.0人未満	2.1人	3,000円以上	1,411円	
	根波線	2.0人未満	1.3人	3,000円以上	2,638円	
	外園線	2.0人未満	1.9人	3,000円以上	1,400円	
	平成温泉線（江南線）	2.0人未満	1.1人	3,000円以上	1,947円	
	島村線	2.0人未満	4.5人	3,000円以上	579円	
	鹿園寺線	2.0人未満	1.4人	3,000円以上	2,134円	
	一畑薬師線	2.0人未満	0.4人	3,000円以上	2,374円	
支線 (過疎辺地)	うさぎ線	2.0人未満	1.6人	4,000円以上	3,109円	
	大呂線	2.0人未満	1.5人	4,000円以上	3,889円	
	朝原線	2.0人未満	1.0人	4,000円以上	5,578円	要
	原田線	2.0人未満	1.1人	4,000円以上	5,541円	要
	窪田橋波線	2.0人未満	1.3人	4,000円以上	3,855円	
	城川西山中線	2.0人未満	1.9人	4,000円以上	3,253円	
	佐津目線	2.0人未満	1.5人	4,000円以上	3,071円	
	毛津線	2.0人未満	—	4,000円以上	—	
	地合線	2.0人未満	3.9人	4,000円以上	1,006円	
	坂浦線	2.0人未満	2.2人	4,000円以上	1,099円	
	塩津線	2.0人未満	1.0人	4,000円以上	3,759円	
	北浜線	2.0人未満	1.5人	4,000円以上	2,172円	
	鱒淵線	2.0人未満	1.7人	4,000円以上	2,083円	
	猪目線	2.0人未満	運休中	4,000円以上	運休中	
	富山線	2.0人未満	0.9人	4,000円以上	4,113円	要
	蔵谷線	2.0人未満	1.2人	4,000円以上	2,714円	

令和5年度 出雲市地域公共交通計画事業実施計画

施策1 地域と地域をつなぐネットワークの強化

施策1-3 鉄道の利用促進強化

鉄道の利用促進に取り組み、住民の利用機会の増加を目指します。

1. 一畑電車乗り方教室の実施

【事業の実施主体】

出雲市・交通事業者・地域住民

【事業の概要】

市内の小学生とその保護者を対象に、乗車券の購入方法やマナーについて説明をした後、実際に電車に乗車します。

【スケジュール】

令和5年8月31日まで申し込み受付

令和5年9月10日開催

令和5年度 出雲市地域公共交通計画事業実施報告(中間)

施策1 地域と地域をつなぐネットワークの強化

施策1-3 鉄道の利用促進強化

鉄道の利用促進に取り組み、住民の利用機会の増加を目指します。

1. 一畑電車乗り方教室の実施

【事業の実施主体】

出雲市・一畑電車・地域住民

【事業内容】

開催日時：令和5年9月10日（日）9時～11時30分

参加者：小学生とその保護者5組10名

スケジュール

- 9：00～ 座学（出雲市駅構内 出雲ターミナル会議室）
 - ・一畑電車について
 - ・大谷彌吉さんと一畑電車のお話
 - ・切符の買い方と電車の乗り方
- 10：30～ 一畑電鉄駅で切符購入
- 10：50～ 出雲大社前駅行きの電車に乗車
- 11：07～ 出雲大社前駅に到着
 - ・出雲大社前駅の紹介
 - ・無人駅での乗り方、降り方（電車内で説明）
 - ・デハニ52の見学
- 11：30～ 現地解散



令和5年度 出雲市地域公共交通計画事業実施計画

施策1 地域と地域をつなぐネットワークの強化

施策1-3 鉄道の利用促進強化

鉄道の利用促進に取り組み、住民の利用機会の増加を目指します。

2. JR西日本の利用促進（新規）

IT、ICの促進

特急やくも号の利用促進

【事業の実施主体】

交通事業者・地域住民

【事業の概要】

「WESTER」アプリによる利用促進

紙媒体の時刻表廃止により、最新情報を簡単に入手できる。

マイ駅登録で、よく利用する駅の時刻を素早く検索できる。

列車の走行位置、遅延時間を簡単に検索できる。

気象情報、災害等による最新計画運休情報を掲載。

駅に行かなくてもネットで簡単に予約できる。

※出雲市駅にネット予約受け取り専用端末を設置（8月5日使用開始）

ICカードのモバイル化

特急やくも号の利用促進

最後の国鉄型特急列車をリバイバル国鉄色（2022年3月運転開始）、リバイバル

スーパーやくも色（2023年2月運転開始）に変更

新型やくも号273系電車の告知

（出雲市駅コンコースで映像放映、2022年12月～）

令和5年度 出雲市地域公共交通計画事業実施報告(中間)

施策1 地域と地域をつなぐネットワークの強化

施策1-3 鉄道の利用促進強化

鉄道の利用促進に取り組み、住民の利用機会の増加を目指します。

2. JR西日本の利用促進(新規)

IT、ICの促進

特急やくも号の利用促進

【事業の実施主体】

JR西日本・地域住民

【事業内容】

「WESTER」アプリによる利用促進

紙媒体の時刻表廃止により、最新情報を簡単に入手できる。

マイ駅登録で、よく利用する駅の時刻を素早く検索できる。

列車の走行位置、遅延時間を簡単に検索できる。

気象情報、災害等による最新計画運休情報を掲載。

駅に行かなくてもネットで簡単に予約できる。

※出雲市駅にネット予約受け取り専用端末を設置(8月5日使用開始)

ICカードのモバイル化

≫ネット予約の推進で利便性が向上

ネット予約による1ヶ月+7日前の事前予約登録や割引価格が好評

ネット予約受け取り専用端末を市報で告知(9月)徐々に定着、待ち時間大幅短縮で好評

ネット予約受け取り件数(8月以降) 1日平均利用 約83件(増加傾向)

ネット予約チケットレス化により通勤者の特急利用が拡大(山陰エリア 約160人/日)

3月からやくも号全車指定席化▶ネット予約のさらなる推進

- ≫WESTER登録者数の増加で時刻検索、運休・遅延情報取得等利便性が向上
松江・出雲エリアのマイ駅登録者数増加（乗車人員10,161人/日）
登録者数 2022年度末8,507人（83.7%） 2023年11月末
11,779人（115.9%）
- ≫モバイルICOCAは徐々に定着しているが、現在ICカード利用が大半を占める

クレジットカードの紐付けが必要なことから、通学定期券の定着が課題

最後の国鉄型特急列車をリバイバル国鉄色（2022年3月運転開始）、リバイバル
スーパーやくも色（2023年2月運転開始）に変更

新型やくも号273系電車の告知

（出雲市駅コンコースで映像放映、2022年12月～）

- ≫リバイバル車両（国鉄色、スーパーやくも色、緑やくも色）3編成を運転し好評
を得て利用促進に寄与

出雲観光協会と連携し国鉄色やくも号の撮影会を後藤総合車両所出雲支所で実施
（合計約220人参加：岡山からやくも号利用条件）

- ≫新型やくもは2024年4月6日から順次運転開始をプレス発表、6月には全列車が
新型に置き換え

10月そば祭りで新型車両の座席を展示、座り心地を体感

コンコースでの映像放映継続、3月22日と23日で関係者、WESTER会員試乗会
実施

3月16日ダイヤ改正でコロナ禍前の毎日15往復（30本）の運転復活



令和5年度 出雲市地域公共交通計画事業実施計画

施策1 地域と地域をつなぐネットワークの強化

施策1-3 鉄道の利用促進強化

鉄道の利用促進に取り組み、住民の利用機会の増加を目指します。

3. 一畑電車の利用促進（新規）

利便性の向上

定期券対策

各種イベント開催

【事業の実施主体】

交通事業者・地域住民

【事業の概要】

利便性の向上

松江水郷祭、いずも神話まつり花火大会に伴う臨時列車運行

定期券対策

沿線企業訪問

新入生向け定期券の入学式出張販売

各種イベントの開催

ビール電車「酔電」の再開（7月15日～8月31日）

鉄道事業創業111周年一畑グループ感謝祭開催（10月15日開催）

ハロウィン電車の臨時列車運行再開（10月下旬予定）

保育園・幼稚園向け絵本読み聞かせ企画「一畑電車に乗ろう」

（5月～翌年3月）

松江市交通局・一畑バスとの共催「小学生運賃無料イベント」の出雲地区拡大

（9月～10月実施）

プレミアム体験運転の再開（令和5年下期再開予定）

子供向け体験運転「一畑電車お仕事体験」イベントの開催（9月16日、23日）

令和5年度 出雲市地域公共交通計画事業実施報告(中間)

施策1 地域と地域をつなぐネットワークの強化

施策1-3 鉄道の利用促進強化

鉄道の利用促進に取り組み、住民の利用機会の増加を目指します。

3. 一畑電車の利用促進（新規）

利便性の向上

定期券対策

各種イベント開催

【事業の実施主体】

一畑電車(株)・地域住民

【事業内容】

利便性の向上

松江水郷祭、いずも神話まつり花火大会に伴う臨時列車運行

【各地花火大会乗降人員数】

単位：人

	2023年度	2022年度	対前年比		
松江	降車 8月5日	3,126	1,940	1,186増	161.1%
	降車 8月6日	1,888	243	1,645増	777.0%
	乗車 8月5日	2,147	1,393	754増	154.1%
	乗車 8月6日	1,539	156	1,383増	986.5%
	合計	8,700	3,732	4,968増	233.1%
出雲	降車	1,751	804	947増	217.8%
	乗車	1,542	734	808増	210.1%
	合計	3,293	1,538	1,755増	214.1%

定期券対策

沿線企業訪問

・(株)プロビズモ ・(株)山陰合同銀行 以上まで

新入生向け定期券の入学式出張販売

出雲高校、出雲商業、出雲農林、平田高校、大社高校

出雲工業(入学説明会での説明案内)

出雲西高、《松江》湖北中(事前受付後の入学式販売)

各種イベントの開催

ビール電車「酔電」の再開（7月15日～8月31日）

今年度6本運行 119名乗車 4年振りの運行

次年度も開催で計画

鉄道事業創業111周年一畑グループ感謝祭開催（10月15日開催）

特別フリー券 2023年 大人：1,537枚 小人：185枚

大人500円/小人250円 （2022年 大人：2,238枚 小人：402枚）

沿線各所イベントの影響か、前年度より乗客大幅減。

ハロウィン電車の臨時列車運行再開（10月下旬予定）

10/28松江フォーゲルパークのハロウィンナイト開催に合わせ、松江しんじ湖温泉から松江フォーゲルパークへ運行、乗客19名に留まる。来場時間帯のピークと運行ダイヤが合致していない点を含め、松江フォーゲルパークとの協議必須

保育園・幼稚園向け絵本読み聞かせ企画「一畑電車に乗ろう」

（5月～翌年3月） 今年度より10本から20本へ増便

今年度第3四半期までに15本 園児計457名 引率計71名の乗車

今年度第4四半期に残り5本 園児計120名 引率計20名の利用予定

人気企画にて今年度10本増、年度初めの受付1週間で満員御礼

松江市交通局・一畑バスとの共催「小学生運賃無料イベント」の出雲地区拡大

（9月～10月実施） 今年度は9/16～11/5の土日祝、計19日で実施

単位：人

	2023年度	2022年度	対前年比	
一畑電車	1,023	662	361増	154.5%
松江市交通局	1,034	666	368増	155.3%
一畑バス	582	464	118増	125.4%
（うち出雲管区）	26		（出雲管区比率）	4.5%
松江市コミバス	55	15	40増	366.7%

プレミアム体験運転の再開（令和5年下期再開予定）

12/10（日）4年ぶりの開催 23名+同伴者3名で開催

参加者の約半数は3年9カ月前にコロナウイルス感染拡大で中止となった参加予定者様に優先参加いただく

3/17（日）に今年度第2回目を予定

次年度以降は例年の年4回開催を計画

子供向け体験運転「一畑電車お仕事体験」イベントの開催（9月16日、23日）

9/16 小人10名 保護者11名 9/23 小人13名 保護者12名

人気企画にて電話受付5分で2日間とも満員御礼

令和5年度 出雲市地域公共交通計画事業実施計画

施策3

高齢者が利用しやすい新たな地域内交通の導入

施策9

中山間地域のまちづくりと連携した取組の推進

路線バスが利用しにくい中山間地域の高齢者等に配慮した、利便性が高いドアツードアの定額乗合交通の導入に向け、佐田地域で実証運行を実施します。実施にあたっては地域と連携し利用促進を図ります。また高齢者の外出を促進するため、月定額料金の乗り放題とします。実証運行の成果を分析し、本格運行に向け検討を行います。

【実証運行の実施主体】

出雲市・交通事業者・地域住民

【実証運行の概要】

<運行地域等>

佐田地域全域

自宅から運行地域内に設定した目的地までを移送します。

<運行時間>

月曜日から金曜日の9:00～16:30

ただし、12月29日から1月3日及び祝日は運休

<料金>

月利用料金：3,300円

<利用方法>

利用者登録後、利用される日の前日午後5時までに、電話で予約

【スケジュール】

令和5年4月下旬	佐田地域の高齢者・高校生を対象に住民アンケートを実施
5月末	住民アンケート回収
6月上旬	出雲市地域公共交通会議にて協議
7月上旬	運行事業者が島根運輸支局へ認可申請
9月1日	実証運行開始
	利用者アンケートの実施
令和6年12月中旬	実証運行の利用状況集計・分析
	本格運行に向け協議

令和5年度 出雲市地域公共交通計画事業実施報告(中間)

施策3

高齢者が利用しやすい新たな地域内交通の導入

施策9

中山間地域のまちづくりと連携した取組の推進

路線バスが利用しにくい中山間地域の高齢者等に配慮した、利便性が高いドアツードアの定額乗合交通の導入に向け、佐田地域で実証運行を実施します。実施にあたっては地域と連携し利用促進を図ります。また高齢者の外出を促進するため、月定額料金の乗り放題とします。実証運行の成果を分析し、本格運行に向け検討を行います。

【実証運行の実施主体】

出雲市・交通事業者・地域住民

【実証運行の概要】

<運行地域等>

佐田地域全域

自宅から運行地域内に設定した目的地までを移送します。

<運行時間>

月曜日から金曜日の9:00～16:30

ただし、12月29日から1月3日及び祝日は運休

<料金>

月利用料金：3,300円

※障がい者・小学生以下、同一月同一世帯2人目以降は半額（1,650円）

※利用のたびに支払う場合は、1乗車あたり700円（障がい者・小学生以下は半額）

<利用方法>

利用者登録後、利用される日の前日午後5時までに、電話で予約

【スケジュール】

令和5年 9月1日 実証運行開始

11月 利用者アンケート実施

令和6年 2月 令和6年度運行方針決定

【運行実績】

別紙のとおり

佐田地域定額乗合交通運行実績

1 佐田地域実証運行状況（令和5年9月1日～12月31日実績）

(1) 利用者数

種別	9月	10月	11月	12月
登録人数	36人	38人	39人	40人
利用者実人数	21人	19人	18人	21人
利用者数(延べ数)／月	92人	93人	104人	102人
営業日数	20日	21日	20日	20日
利用者数延べ数／日※	4.6人/日	4.4人/日	5.2人/日	5.1人/日

※片道を1人とカウント（往復の場合は2人カウント）

【参考】

佐田生活福祉バス利用状況（令和5年8月31日まで運行）

利用者数(延べ数)／月 86人（令和5年4月～8月の平均）

(2) 利用時間帯（多い時間帯を抽出）

順	9月		10月		11月		12月	
	時間帯	件数	時間帯	件数	時間帯	件数	時間帯	件数
1	9時台	30	9時台	42	9時台	40	9時台	36
2	10時台	17	10時台	22	10時台	31	10時台	26
3	11時台	13	11時台	14	11時台	12	11時台	22

※午後の利用数は、午前の1／4程度

(3) 乗降場所（自宅を除く）

順	9月		10月		11月		12月	
	乗降場所	件数	乗降場所	件数	乗降場所	件数	乗降場所	件数
1	商業施設	40	医療機関	34	医療機関	44	商業施設	36
2	医療機関	35	商業施設	32	交通機関	22	医療機関	28
3	交通機関	9	交通機関	14	商業施設	21	金融機関	14
4	金融機関	5	理・美容室	6	金融機関	10	理・美容室	11
5	理・美容室	3	金融機関	4	理・美容室	3	交通機関	9

※スーパー、病院の利用数が約7割

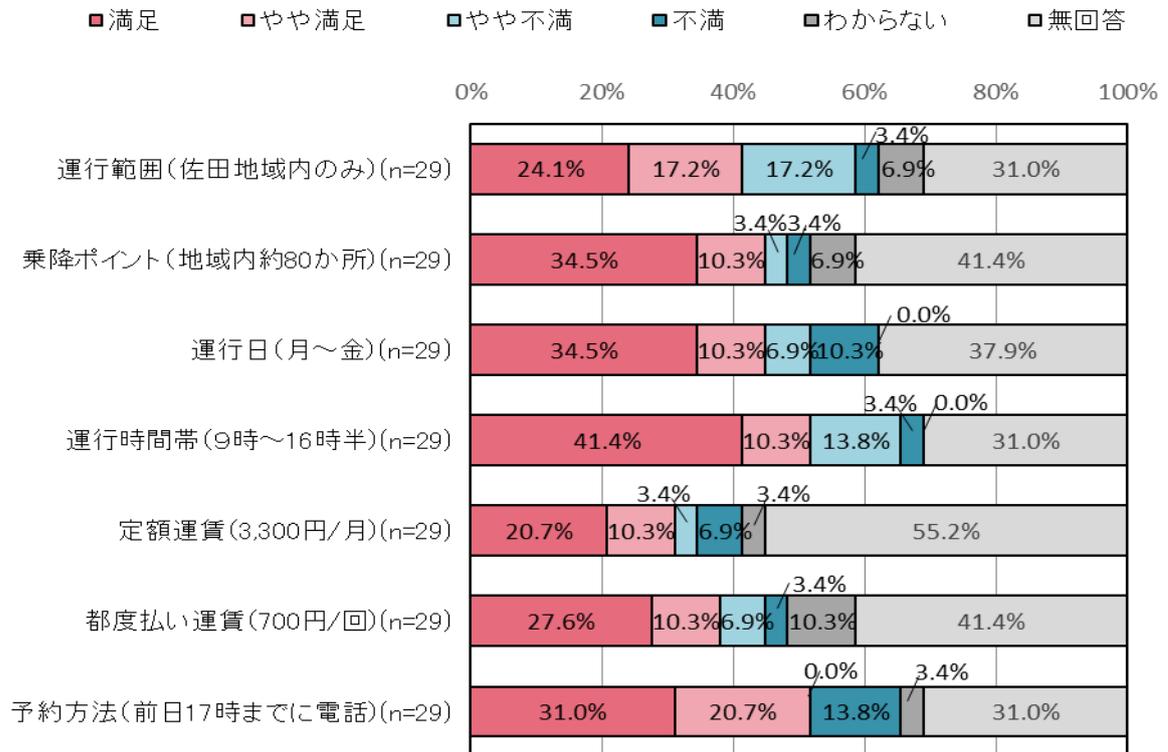
2 利用者アンケート結果

(1) アンケートについて

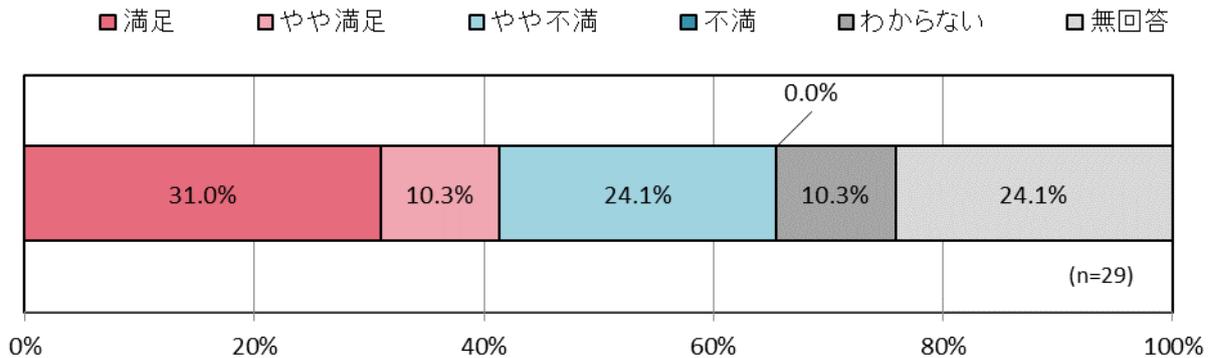
- ①目的 利用者の評価や意向の聞き取りにより、本格運行に向けた検討資料とする。
- ②期間 令和5年11月22日～12月8日
- ③対象 佐田地域定額乗合交通 利用者 38名
- ④回答率 76% (29人/38人)

(2) アンケート結果 (抜粋) n (回答者数) = 29

①各サービスに対する満足度 (定額乗合交通)



②総合的な満足度 (定額乗合交通)



令和5年度 出雲市地域公共交通計画事業実施計画

施策5

わかりやすい時刻表やマップの作成と多言語化

時刻表や路線図の多言語化に取り組み、市内に居住する外国籍の人や国外から観光に訪れた人が気軽に公共交通を利用できるようにします。

【事業の実施主体】

出雲市

【事業の概要】

<時刻表の多言語化>

市内路線バスの時刻表についてポルトガル語版、英語版を作成します。

<路線図の多言語化>

市内路線バスの路線図についてポルトガル語版、英語版を作成します。

【スケジュール】

令和5年5月下旬 翻訳開始

12月中旬 翻訳完成、ホームページに掲載

令和5年度 出雲市地域公共交通計画事業実施報告(中間)

施策5 わかりやすい時刻表やマップの作成と多言語化

時刻表や路線図の多言語化に取り組み、市内に居住する外国籍の人や国外から観光に訪れた人が気軽に公共交通を利用できるようにします。

【事業の実施主体】

出雲市

【事業内容】

<時刻表の多言語化>

市内路線バスの時刻表についてポルトガル語版、英語版を作成中です。

<路線図の多言語化>

時刻表の完成後に路線図についてポルトガル語版、英語版を作成します。

【スケジュール】

令和6年2月	時刻表の翻訳完成
3月	路線図の翻訳作成・完成

令和5年度 出雲市地域公共交通計画事業実施計画

施策10

公共交通の担い手不足への対応

交通事業者と連携し、運転手確保に向け取り組みます。

【事業の実施主体】

島根県旅客自動車協会

【事業の概要】

バス及びタクシー業界をPRする広報活動に取り組みます。

【スケジュール】

令和5年8月5日 「タクシーの日」に運転手募集等を内容とするグッズを利用者へ配布。

9月20日 「バスの日」に運転者募集等を内容とする新聞広告を実施。

令和5年度 出雲市地域公共交通計画事業実施報告(中間)

施策10

公共交通の担い手不足への対応

交通事業者と連携し、運転手確保に向け取り組みます。

【事業の実施主体】

島根県旅客自動車協会

【事業の内容】

バス及びタクシー業界をPRする広報活動に取り組みました。

令和5年8月5日 「タクシーの日」に運転手募集等を内容とするグッズを利用者へ配布。

9月20日 「バスの日」に運転者募集等を内容とする新聞広告を実施。

令和5年度 出雲市地域公共交通計画事業実施計画

施策11

スマホひとつで利用できる公共交通システムの構築

市内を運行する全てのバス路線について、標準的なバス情報フォーマットによる公表を行います。

【事業の実施主体】

出雲市

【事業の概要】

時刻表やバス停の位置を標準的なバス情報フォーマットで作成し、全国対応の乗換案内、経路検索のアプリに情報提供し、バスルート検索ができるようにします。

【スケジュール】

令和5年7月下旬 事業者へ業務委託

12月中旬 公開

令和5年度 出雲市地域公共交通計画事業実施報告(中間)

施策11 スマホひとつで利用できる公共交通システムの構築

市内を運行する全てのバス路線について、標準的なバス情報フォーマットによる公表を行います。

【事業の実施主体】

出雲市

【事業内容】

時刻表やバス停の位置を標準的なバス情報フォーマットで作成しました。
公表に向け、現在Googleマップにおいて確認を受けているところです。

【スケジュール】

令和6年3月 公開